

2018（平成30）事業年度

決算報告書

自：2018（平成30）年4月 1日

至：2019（平成31）年3月31日

国立大学法人神戸大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人神戸大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	21,221	21,529	308	(注1)
施設整備費補助金	628	529	△99	(注2)
補助金等収入	1,578	1,501	△77	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	51	51	-	
自己収入	44,334	44,744	411	
授業料、入学金及び検定料収入	9,118	8,955	△162	(注3)
附属病院収入	34,472	34,885	413	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	744	904	160	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	7,783	10,809	3,026	(注6)
引当金取崩	-	428	428	(注7)
長期借入金収入	762	726	△37	
貸付回収金	1	2	-	
目的積立金取崩	172	126	△46	
計	76,531	80,446	3,915	
支出				
業務費	63,179	62,522	△657	
教育研究経費	30,308	29,263	△1,044	(注8)
診療経費	32,871	33,259	388	(注9)
施設整備費	1,441	1,306	△136	(注10)
補助金等	1,578	1,501	△77	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	7,783	8,736	953	(注11)
貸付金	1	1	-	
長期借入金償還金	2,548	2,542	△6	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	76,531	76,608	78	
収入－支出	-	3,837	3,837	

※項目ごとに四捨五入を行なっているため、計及び差額が合致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職給付金の追加交付、災害対策の補正予算の交付13百万円があったことにより、308百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、災害対策補正予算の交付72百万円があったものの、その他の交付額が見込額を下回った事により、予算額に比して決算額が99百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料、入学金及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が162百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、診療部門の稼働状況及び国際がん医療・研究センターの病院収入が増えたことにより、予算額に比して決算額が413百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、学校財産の貸付などの雑収入が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が160百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことに加え、前期繰越額のうち、当期に使用した額を含めて計上していることにより、予算額に比して決算額が3,026百万円多額となっています。なお、決算額には前年度からの繰越金1,708百万円を含んでおります。
- (注7) 引当金取崩については、賞与引当金379百万円及び退職給付引当金49百万円を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が428百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、人件費の執行が見込額を下回った、また(注3)に示したことにより、予算額に比して決算額が1,044百万円少額となっています。
- (注9) 診療経費については、主として(注4)で示した理由により執行額が増加したことにより、予算額に比して決算額が388百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、施設工事計画の変更が発生したことにより、予算額に比して決算額が136百万円少額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として(注6)で示した理由により執行額が増加したことにより、予算額に比して決算額が953百万円多額となっています。